

『News Letter 新名神 (高槻～神戸) Vol.4』発行にあたって

日頃より NEXCO 西日本の事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。新名神の手作り情報誌として始めたこの『News Letter 新名神 (高槻～神戸) ～兵庫からの発信～』も、今回で4回目の発刊となりました。四半期毎に発刊していますので丁度1年を経過したことになります。

本号のご挨拶として新名神建設事業の兵庫県域を担当する我が NEXCO 西日本兵庫工事事務所が建設事業の促進に関する様々な活動に加え、今年度力を入れている「CSR活動の推進」についてご紹介いたします。CSRは Corporate Social Responsibility の略で一般的に『企業の社会的責任』と訳され、一言では表せないほど幅広い意味や視点を有す言葉です。当事務所ではこのうち『社会貢献～地域との連携～』に軸足を置き活動を開始しました。今年1月神戸市から川西市へ事務所を移転したこともあり、皮切りとして川西市が企画している活動にいろいろと参画しながら、地域社会に少しでもお役に立てるよう取り組みを始めました。そのひとつが下段で紹介している「川西市クリーンアップ大作戦」への参加です。また6月には取得済用地の除草作業について(社)川西市シルバー人材センターと協定を締結し、高齢者に活動の場を提供するとともに弊社事業にとってもコスト削減が図れるというWin-Winの関係を構築しました。これらの活動を契機に今後もCSR活動に注力してまいります。

これらの活動の他にも、高速道路を造るといふハード領域だけでなく、新名神の開通後を睨み、少しでも早く新名神が活発に利用され、地域にお役にたてることを願って、まずは経済界からということで、神戸商工会議所及び川西市商工会を通じて、地域の企業の皆様と直接お話しさせて頂く機会を設けて頂き、新名神のPRを行うと同時に、皆様の新名神にかかる期待の声を直接お聞きする活動も緒に就いたところです。高速道路建設に関わる沿線の方々のみならず、地域の皆様と地道に接点を広げながらこの事業を展開していく所存です。

一日も早く名神・中国道の渋滞解消し、そして新名神(高槻～神戸)の整備が日本の元気を関西から発信していく力となることを願って、関係行政・土地開発公社等の皆様と一体となって精力的に事業を推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



NEXCO 西日本高速道路(株) 関西支社 兵庫工事事務所 所長 小笹 浩司

【事業進捗状況】

市町名	神戸市 北区					宝塚市			川辺郡 猪名川町			川西市		
	八多町 中	有野町 二郎	道場町			玉瀬	武田尾	切畑	猪瀬	広根	上野	石道	西畦野	東畦野
地区名		平田	塩田	生野										
地元協議 (完成6車線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(○)	(○)	(○)
地元協議 (暫定4車線)	—	△	△	△	△	○	○	○						
幅杭設置 (率)	○	△	△	—	△	△	—	○	△	△	○	○	○	△
	約83%													
用地調査	○	△	△	—	△	△	—	△	△	△	△	△	○	△
用地取得 (率)	○	△	△	—	△	△	—		△		△	△	△	
	約23%													
工事用道路 工事	—	—	—	—	△ <sub>2</sub>	△ <sub>2</sub>	—		—	—	—	—	—	—
本線工事						△ <sub>1</sub>	—							

凡例： ○⇒完了、△⇒実施中、空白⇒未着手、赤字⇒前号より推進した項目  
(○)は確認書の締結が未了、工事の数字は工事発注件数

【兵庫工事事務所のCSR活動】

NEXCO西日本では、常にすべての活動において、企業の社会的責任(CSR)の遂行を共通の目標に掲げ、「いいことやろう西日本、社会に尽くそう西日本。高速道路で西日本。」をスローガンとして社員一丸となり、「社会に貢献する会社」になるよう努力しています。

今回は平成21年5月17日(日)に行われました、川西市クリーンアップ大作戦へ参加いたしました。

今にも雨が降り出しそうな天候の中、約50名のNEXCO社員及び協力社員が集まり、阪急川西能勢口駅周辺のゴミ清掃を行いました。

今後も当事務所として、川西まつり等の地域の催しに参加するなど、より良い企業市民を目指し努力してまいります。

※CSRとは、「企業が社会の一員として、社会に対して果たすべき役割と責任」という意味です。



シリーズ 新名神キーマンインタビュー (第4回)

～兵庫県 宝塚土木事務所 藤井 良啓 所長を訪ねました～



Q1. 今回、宝塚土木事務所に、高速道路関連の事業関係部署の充実を図っていただき有難う御座いました。まずは、この4月に新設していただきました組織について簡単にご紹介願います。

A1. この4月より高速道路参事の下に新名神用地対策課と新名神関連道路整備課の2課を新設し体制強化を図りました。県としても1年でも早い供用を願っており、山積する問題に対し、参事を含め総勢14名が一丸となって取り組んでいきます。

Q2. 今後弊社はこれまで以上のご協力とご指導を頂きながら事業を進めていかなければならないのですが、弊社に対する要望などはありますか。

A2. 事業推進には地元住民の理解と協力が欠かせません。県、市町との連携をこれまで以上に密にし、地元対応をお願いします。また、宝塚市内のSA及びスマートIC設置について、地元が望まれるのであれば、県としても引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えておりますのでご支援をお願いします。

Q3. 以前、新名神関係の業務に携われておられたとお聞きしています。今後、新名神事業を円滑に進める上で、平成28年度開通に向けて兵庫県宝塚土木事務所の役割としてどのようなことをお考えでしょうか？

A3. 一つ目は本線及び関連県道の早期用地取得と工事に関連する地元設計協議の完了です。二つ目は県道川西インター線をはじめとする関連県道の改良事業の計画的な推進です。そして三つ目ですが、本プロジェクトはNEXCO西日本、県、市町が各々の役割に基づき事業を行う複合的な一面を有していますので、3者が一丸となって事業を牽引していかなければいけません。

Q4. 新名神高槻～神戸間の整備により川西IC(仮称)が設置されますが、交通の新たな流れの変化に伴い阪神北県民局管内の産業経済活動や沿線にお住まいの方々へのどのようなインパクトを与えるとお考えですか。

A4. 中国道は宝塚トンネルを中心に慢性的に渋滞しており、その経済的損失は大きいですが、完成後は高速ネットワーク網の整備効果が発揮され、企業立地の進む本県に与える影響は大きいと思います。また、川西市北部や猪名川町は大規模団地があり東西道路が弱いため南北道路に交通が集中し渋滞が発生しています。これまで住民の方々は高速道路を利用する場合、阪神高速や中国道まで南下しなければいけませんでした。新名神完成後はまさに自宅からすぐに高速道路に乗り時間短縮効果は絶大です。このように住民の期待も大きいので、県としても早期開通に向け全力で取り組んでまいりますので、事業促進方よろしくお願いいたします。



【写真】左：藤井所長 右：インタビュアー NEXCO兵庫(工)三枝



宝塚土木事務所所員 市原参事以下14名

【新名神高速道路利用者の声】

新名神高速道路(亀山～草津間)がH20.2に開通し1年以上が経過しました。そこで、新名神高速道路利用者にアンケートまたはヒアリング調査を実施しました。利用者の声をお聞かせください。

